令和８年 11 月 13 日

令和　８　年度　第２回　大阪市立栄小学校　学校協議会 実施報告書

校園名　大阪市立栄小学校
校園長名　　細田　拡敦

日 時		令和８年 11 月 12 日（木）　18 時～19 時（１時間）
場 所		大阪市立栄小学校　１階　生涯学習室
出席者	委員など	浅田正仁(会長)　中田正孝(委員)　脇原健二(委員)　谷口英代(委員) 北口武司(委員)　藤原照久(委員)　瀬川晴美(委員)　福田奈奈(委員) 萬代加代子(委員)
	校園	細田拡敦(校長)　村松勇介(教頭)　土橋守(人権教育主担) 山本大斗(日本語指導担当)
	区役所	富坂義典(係長)
議題		(1)　令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について (2)　「令和８年度　運営に関する計画」中間評価について (3)　本年度末の学校協議会について　・年間計画＜３月中旬(最終評価)＞ (4)　令和９年度　教育課程について (5)　その他

協議要旨		協議の結果	意見の概要
	(1)	国語・算数ともに、本校の平均正答率は大阪市の平均正答率を下回っている。平均無回答率も大阪市平均よりも高いため、引き続き対策が必要である。	○無気力や集中力の低下は、生活習慣とも関係があるのではないか。家庭的な問題を改善することも、大切である。かけ算九九等、基礎的基本的な学習の理解ができていない児童もいる。習得させてから進学できるようにさせたい。
	(2)	中間評価において、教職員間の協議では「目標を達成できている」とした。子どもアンケートの結果も踏まえ、年度末に向けてより一層推進していく。	○「学校へ行くのは楽しい」「自分には良いところがあると思う」のアンケート結果が、昨年度末に比べて低下している。学年によってばらつきもあるため、学校全体で子どもの様子をよく観察し、できる支援を充実させることが大切である。
	(3)	年度当初に立てた計画どおり、３月中旬までに最終評価を行うことを確認した。	○学校全体の子どもの様子について、学校では生活指導が行き届いているが、地域での遊びが心配な面もある。子どもたちが伸び伸びと遊べる場所が必要である。
	(4)	次期学習指導要領の改訂において、調整授業時数制度「40 分授業」の全面実施を導入する。子どもたちの学びの推進と、教職員の余白の創出を両輪で進めていくことを確認した。	○現在の子どもたちの状況において、非常に良いことである。40 分で集中力を高めて授業を進めていくことで、良い効果を期待できる。一方で、教員が焦って教科書を読み進めたり問題を飛ばしたりすることがないよう、工夫しながら進めていくことも大切である。

協議資料	○　令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果 ○　令和８年度「運営に関する計画」中間評価 ○　令和９年度　教育課程編成における「40 分授業」導入について
備考	傍聴者[　０　]名